

Together

経営に関する難題解決の事例や手法、働く人々の思いや業界最新情報を共有する月刊紙

KBS
INSTITUTE
KBS
ENTERPRISE
KBSグループ
2021.1 No.182

知識 [Knowledge] と行動 [Behavior] で問題解決 [Solution] を支援

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

新年あけましておめでとうございます。今年も観光業界で培った経験や知恵 (Knowledge) を活かしくライアント様、パートナー様とともに汗を流し行動し (Behavior) 観光業界に携わる企業・団体の経営に関する諸問題を解決すること (Solution) で社会に貢献する会社を目指してまいります。

何卒ご愛顧、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 KBS 創研・株式会社 KBS エンタープライズ
代表取締役 小泉 壽宏



おかげさまで、KBS創研は第18期、KBSエンタープライズは第4期を迎えました！ コロナ禍において戦う観光事業者を今年も懸命に支援してまいります。

2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、観光業は大きな痛手を被りました。

4月の緊急事態宣言の発出を契機に、一気に旅行市場は縮小。同時に運転資金に窮する企業が続出しました。KBS創研ではクライアント、取引金融機関、日本政策金融公庫、各地の中小企業再生支援協議会や経営改善支援センター等と連携を図り、当面必要な運転資金の確保に奔走しました。

一方KBSエンタープライズでは1月に催行したツアーを最後に、年内企画していたすべてのツアーを催行中止とする判断を致しました。ただ弊社が企画した旅行を楽しみにされていたお客様も少なくありません。そこで動画配信をしようと試み

YouTube【KBS旅チャンネル】を開設、沖縄県・座間味島からの配信を行いました。

コロナ禍が継続する中、懸命に事業を継続する事業者への支援は益々必要となってまいります。またWithコロナの時代を踏まえた新たなビジネスモデルへの転換も不可欠です。

KBSグループでは、今後も経営コンサルティング事業と観光関連事業の融合によるハイブリットなソリューションを提供するべく、様々な取り組みを行ってまいります。

全国の観光事業者の皆様、この逆風に負けずに逆に新たな成長への契機ととらえ頑張りましょう！

斎場御嶽世界遺産登録20周年記念事業 モニターツアーに参加させていただきました。 2020年12月1日(火)～3日(木)

沖縄最高位の聖地、斎場御嶽が2000年に世界遺産に登録され20周年を迎えた記念事業の一環として、南城市で企画されたモニターツアーに参加させて頂きました。

■モニターツアーの実施に当たって

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 及び一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA) が定める「旅行業における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に沿って実施されました。

【主な実施事項】

- ・ツアー1週間前からの検温。 ・ツアー中の検温、健康状態の確認。
- ・行動中のマスクの着用。 ・ソーシャルディスタンスを確保した移動。
- ・バスは乗車時の手指消毒、2席1名の使用かつ十分な空調。
- ・会食場所は広いスペース確保、食事時間も短く。 等

■モニターツアーの内容

1日目

まず最初に琉球の素地を創ったとされる神様「アマミキヨ」が沖縄本島に上陸された時に最初に足を降ろしたとされるヤハラヅカサを臨む百名ビーチで、幼い頃の記憶を思い出しながらの内観とグループセッションが行われました。続いて「垣花樋川」で水音に耳を傾け、流れる水と身体が一体になったような気分を味わい、最後に琉球国王が聖地を巡礼した「東御廻り(アガリウマーイ)」最後の拝所「玉城グスク」



の城壁で、生まれ変わった気持ちになって「Re-born!」を叫ぶ儀式。

五感を研ぎ澄まして自分を見つめ直し、生きることの基本に立ち返る「原点回帰」を心と身体で感じる一日でした。



垣花樋川にて (1日目)

2日目

琉球最初の統一王国をつくりあげた王家「第一尚氏」の王族のお墓や城跡などを現地ガイドの方の案内を聞きながら巡り、沖縄の信仰や琉球王国の栄華についての学びを深めました。その後、かつては死者を弔う“黄泉の国”とされていた島「奥武島」に渡り、唐より贈られた観音様を安置した観音堂をお参り。ここでは今も旧暦に沿った生活が送られて

おり、旧暦は人にとっても自然なサイクルであるので寿命も長くなることが証明されているという話を伺いました。この日の最後は、本ツアーのメインの「斎場御嶽」です。斎場御嶽は、アマミキヨが造られたと伝えられ、原生林に囲まれた御嶽内には清浄な空気が漂っています。琉球王国全土の祝女(ノロ)の頂点に立つ「聞得大君(きこえおおきみ)」の就任の儀式がここで執り行われたとのガイドの方の説明を聞き、ツアーでのこれまでの体験を思い出しながら沖縄の人たちにとってとても大切なこの地に対する敬意を深く感じました。



3日目

シーサー作りとハーブティーのブレンドを体験しました。自分の作りたいシーサーを自由に作るシーサーには、一人ひとりの個性が現れ、その時の気分によっても違った表情が生まれるので何度来ても楽しめるそう。農園でとれた32種類ものハーブを心身の状態に合わせてブレンドするハーブティーは、レシピを保存してもらえるので自分だけのオリジナルを何度でも購入することができます。沖縄の文化に触れつつ、賑やかにしゃぎながら楽しんだひと時でした。



旅の最後は、那覇市内に移り天照大御神が伊勢に渡る前に降臨されたと言い伝えられる「沖宮」を参拝。1日目の原点回帰、2日目の歴史や信仰との触れ合い、3日目の体験プログラムを通して感じたことを振り返り、神妙な気持ちで神様に感謝をお伝えして終了となりました。

■モニターツアーに参加させていただいて

本モニターツアーは、斎場御嶽の世界遺産登録20周年記念事業の一環として行われました。現地では、斎場御嶽という聖地のブランド力を高め、いたずらに入込客数を増やすのではなくこの地の価値の本質を理解するマインドリッチ層の誘客を進めていくことを目指したツアーを模索されています。今回、2泊3日に亘りほとんどの行程を南城市内のみで過ごす旅を体験し、一つの市内でこれだけのストーリー性のある旅行ができるということをとっても新鮮に感じました。現地の資源を現地の人が発掘するからこそ可能になる、ガ

イドブックやインターネット検索では作れない体験の特別感、旅慣れた人や知的好奇心の強い層にもきっと響くだろうと感じました。

最後になりましたが、主催者であり全行程ご同行頂いた南城市観光協会の安次富梨乃様、行程づくりから当日のアテンドまでご尽力いただいたイーストホームタウン沖縄(株)代表の相澤和人様、関係者の皆様にご心より御礼申し上げます。

編集 後記

2021年がスタートしました。世界を巻き込んだ新型コロナウイルスの感染拡大はとどまるどころを知らません。一方で、私たちが抱えていながら、これまで解決を先送りしてきた様々な弱点を次々とあぶり出しているともいえます。この新時代の波をどのように乗りこなしていくのか、今年には重要な1年になりそうです。今月号のTogetherでは、YouTube【KBS旅チャンネル】の配信、マインドリッチ層をターゲットにした斎場御嶽モニターツアーを掲載しています。これらの取り組みも大いにヒントになりそうです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(増田)

KBSグループ

株式会社 KBS 創研 経営革新等支援機関 近財金1第241号 20130528 近畿第74号

株式会社 KBS エンタープライズ 兵庫県知事登録旅行サービス手配業 第18号

本社：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町3丁目1-5-203 TEL:06-6423-5561/FAX:06-6423-5571